

# 施工手順書 防草マットの敷設

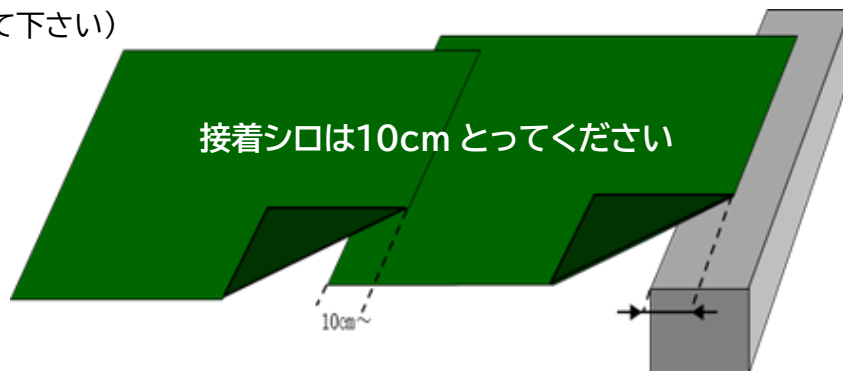
防草効果はマット敷設方法によって変わってきます。

## ① 整地

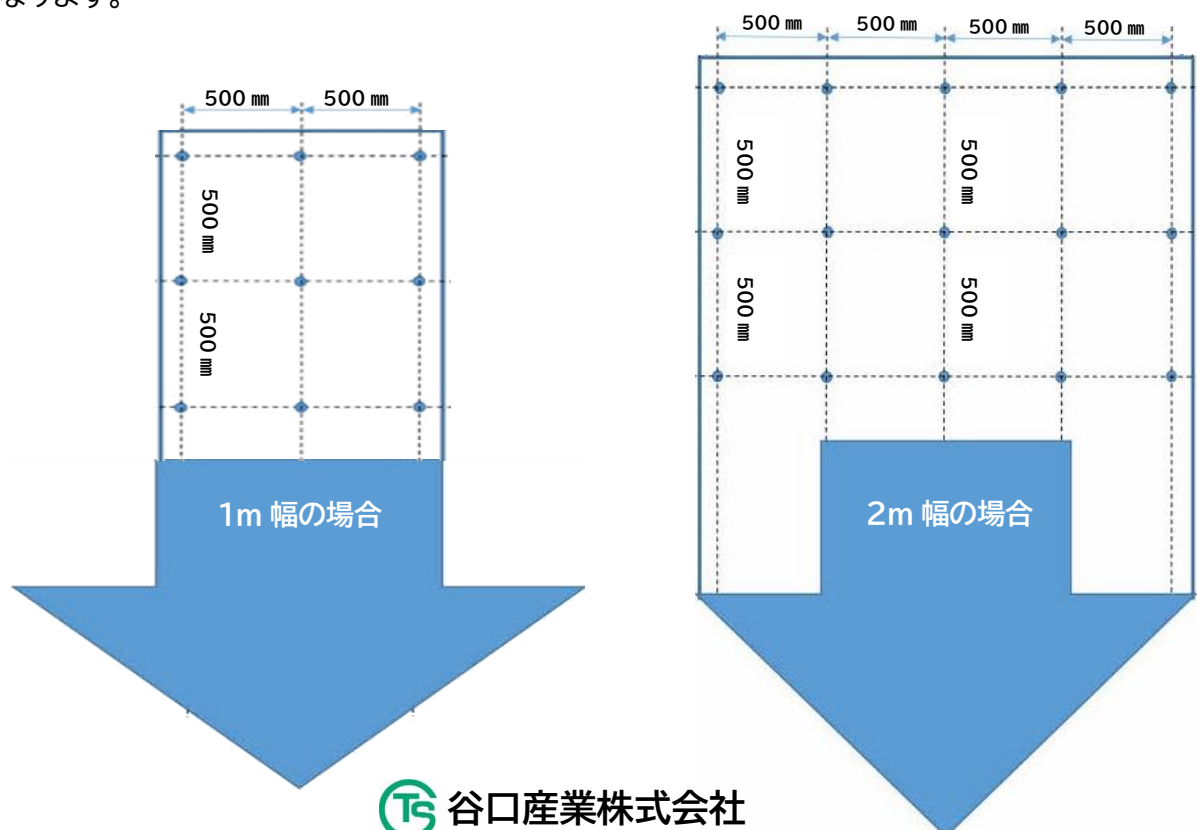
- 敷設場所は、除草作業を行い、刈り取った草やゴミ等を除去します。
- 凹凸がある場合は、整地し敷設しやすい状態にします。  
※多少の不陸は十分に密着しますが、浮いてしまうと能力の低下・剥がれの原因になるのでご注意ください。
- 除草剤の散布が可能な場合は散布をお勧めします。
- チガヤ・ススキ・ヨシなどイネ科の雑草が自生している場合は、抜根処理や除草剤の散布など完全に枯死を確認の上、敷設して下さい。
- 植樹ニューマット H タイプはイネ科の雑草も抑制します。現場状況にあったマットをお選び下さい。

## ② マット敷設

- 敷設場所の形状に合わせ防草マットを敷いて下さい。マットをラップさせる場合は下図のように、ラップ幅を 10cm 以上とって下さい。(縁石などのコンクリート躯体などに接着する場合も、ラップ幅は 10cm とって下さい)



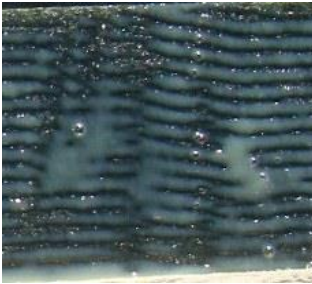
- マットの固定をするピンの打設は約 50cm ピッチとし、1 m<sup>2</sup>当り、平地で4～5本、法面で5～6本が目安となります。



# 防草マット重ね合わせ方法

防草マット敷設時の手順です

## ① ボンド施工(マット同士の接着)コンクリート面

|                                                                                    |                                                                                    |                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| ①清掃する                                                                              | ②接着剤を塗る                                                                            | ① 接着不良の原因となるので汚れを除去する。                                     |
|   |   | ② 10cm幅を目安にボンドを塗布します。                                      |
| ③オープンタイムをおく                                                                        | ④圧着                                                                                | ③ 表面に小さな気泡が浮くぐらいまでオープンタイムをとり、接着剤を半乾き状態にします。<br>(目安)約2～5分程度 |
|  |  | ④ 均一に圧着します。シートの浮きが見られた場合はテープなどを使い仮止めし、養生時間をとってください。        |

## ② 接着テープ施工(マット同士の接着)

|                                                                                     |                                                                                     |                                                                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①清掃する                                                                               | ②テープが中央にくる                                                                          | ① 接着不良の原因となるので汚れを除去する。                                                                               |
|  |  | ② <b>テープ本体を引張りながら貼らないで下さい。</b><br>マットの端部がテープの幅中央にくるように貼って下さい。<br>不陸があり接着テープが浮き上がる箇所はマットに沿って貼り付けて下さい。 |
| ③圧着                                                                                 |                                                                                     | ③ <b>貼り付けた後、しっかりと圧着して下さい。</b>                                                                        |
|  |                                                                                     |                                                                                                      |

※ 気象条件などによっては、数年後に粘着力が低下し、テープが剥離する場合があります。剥離したテープが飛散しても周辺交通に支障が出ない様、適当な長さにカットして使用する事をお勧めします。



# 固定ピンの打設と処理方法

防草効果はマット敷設方法によって変わってきます。

## ① ピン部補強補助材＋固定ピン(マン丸君 JG-80 使用)

- 固定ピン打設箇所の補強
- ピン穴からの雑草発生を抑制



数年後経過写真

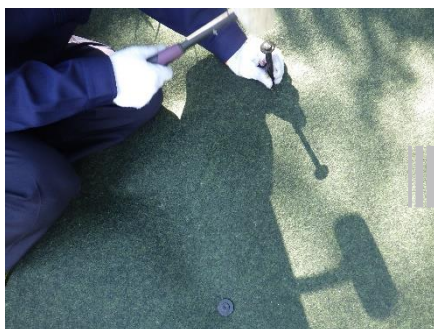
## ② ピンシール＋固定ピン(マルチング接着テープスリットタイプ MTG-100S 使用)

- 固定ピン打設後、約 10cm 角の接着テープを貼り付ける事でピン穴からの雑草を抑制します。
- 防草マットが湿っていたり濡れている状態では、接着不良が起こりますので、完全に乾いてから施工してください。



## ③ ピンシール＋ムカデピン(マルチング接着テープスリットタイプ MTG-100S 使用)

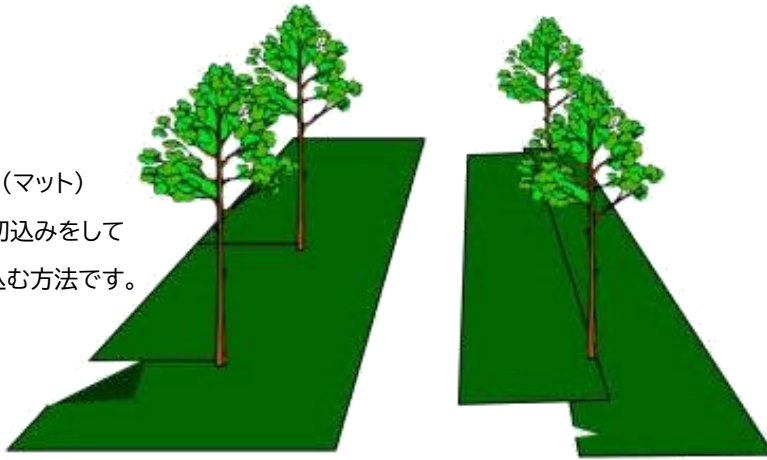
- 強風対策用固定ピンです。(固定用補助部材:専用固定ピンのページをご参照ください)
- 返しを大きく多くすることによりピンの浮き上りを抑制します。
- 軟弱地盤などでピンの抜けやすい場所にも使えます。



# 植栽有りの敷設方法

## 植栽がある場合

シート(マット)  
片方切込みをして  
差し込む方法です。

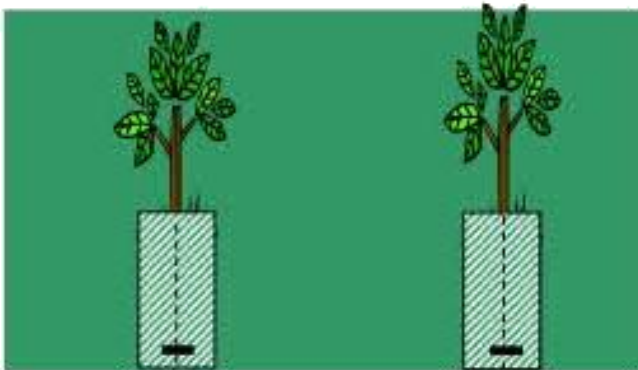


2 本以上のシート(マット)を使い株元分  
だけ切込みをして、挟み込む方法です。  
切込みをいれたシート(マット)下側にし  
て切込みを隠します。

中高木の場合は、植栽を先に行い、マットに切込みを入れ敷設する方法がポピュラーです。

## シート(マット)片方切込みの場合

切り込み部に固定ピンを打設し、上から接着テープを貼りつけます。



## 植栽がある場合(地被類)

地被類や鉢径の小さい低木は、敷設後に十字、  
またはT字に切込みを入れての植栽がお勧めです。

